

消毒薬の種類と用途

薬品名	塩素系消毒液(次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水等)		第4級アンモニウム塩 (塩化ベンザルコニウム等) 逆性石けん又は陽イオン界面 活剤性ともいう	アルコール類 (消毒用エタノール等)
	次亜塩素酸ナトリウム	亜塩素酸水		
消毒をする場所・もの	・調理及び食事に関する用具 (調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等) ・室内環境(トイレの便座、ドアノブ等) ・衣類、シーツ類、遊具等 ・嘔吐物や排泄物が付着した箇所	・調理及び食事に関する用具 (調理器具、歯ブラシ、哺乳瓶等) ・室内環境(トイレの便座、ドアノブ等) ・衣類、シーツ類、遊具等 ・嘔吐物や排泄物が付着した箇所	・手指 ・室内環境、家具等(浴槽、沐浴槽、トイレのドアノブ等) ・用具類(足浴バケツ等)	・手指 ・遊具 ・室内環境、家具等(便座、トイレのドアノブ等)
消毒の濃度	・0.02%(200ppm)液での拭き取りや 浸け置き ・嘔吐物や排泄物が付着した箇所： 0.1%(1,000ppm)液での拭き取りや浸 け置き	・遊離塩素濃度25ppm(含量亜塩素酸 として0.05%≒500ppm以上)液での拭 き取りや浸け置き ・嘔吐物や排泄物が付着した箇所：遊 離塩素濃度100ppm(含量亜塩素酸とし て0.2%≒2000ppm以上)液での拭き取 りや浸け置き	・0.1%(1,000ppm)液での 拭き取り ・食器の漬け置き： 0.02%(200ppm)液	・原液(製品濃度70～ 80%の場合)
留意点	・酸性物質(トイレ用洗剤等)と混合 すると有害な塩素ガスが発生するので 注意する。 ・吸引、目や皮膚に付着すると有害で あり噴霧は行わない。 ・金属腐食性が強く、錆びが発生しや すいので、金属には使えない。 ・嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒 する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に 消毒を行う。 ・脱色(漂白)作用がある。	・酸性物質(トイレ用洗剤等)と混合 すると有害な塩素ガスが発生するので 注意する。 ・吸引、目や皮膚に付着すると有害で あり噴霧は行わない。 ・ステンレス以外の金属に対して腐食 性があるので注意する。 ・嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒 する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に 消毒を行う。 ・衣類の脱色、変色に注意。	・経口毒性が高いため誤飲 に注意する。 ・一般の石けんと同時に使 うと効果がなくなる。	・刺激性があるので、傷 や手荒れがある手指には 用いない。 ・引火性に注意する。 ・ゴム製品、合成樹脂等 は、変質するので長時間 浸さない。 ・手洗い後、アルコール を含ませた脱脂綿やウ エットティッシュで拭き 自然乾燥させる。
新型コロナウイルスに対する有効性	○(ただし、手指には使用不可)	○(ただし、手指への使用上の効果は 確認されていない)	○(ただし、手指への使用上の 効果は確認されていない)	○
ノロウイルスに対する有効性	○	○	×	×
消毒液が効きにくい病原体			結核菌、 大部分のウイルス	ノロウイルス、 ロタウイルス等
その他	・直接日光の当たらない涼しいところ に保管する。	・直接日光の当たらない涼しいところ に保管する。	・希釈液は毎日作りかえ る。	

(表1)次亜塩素酸ナトリウム(製品濃度が約6%の場合)及び亜塩素酸水(製品濃度が約0.4%の場合)の希釈方法

	消毒対象	調整する濃度 (希釈倍率)	希釈法
ナ次 ト亜 リ塩 素 ム酸	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.1% (1000ppm)	水1Lに対して約20mL (めやすとしては、500mlペットボ トルにキャップ2杯弱)
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.02% (200ppm)	水1Lに対して約4mL (めやすとしては、500mlペットボ トルにキャップ0.5杯弱)
	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	遊離塩素濃 100ppm 含量亜塩素酸として 0.2%(2000ppm)	水1Lに対して約1L (2倍希釈)
亜 塩 素 酸 水	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	遊離塩素濃 25ppm 含量亜塩素酸として 0.05%(500ppm)	水1Lに対して約143mL (8倍希釈)

○ 熱湯での希釈は行わない。

○ 塩素系消毒薬の希釈液は、時間が経つにつれ有効濃度が減少することに留意する。

○ 製品によっては、冷暗所に保管するよう指示があるものがあり、指示に従い適切に保管することが必要となる。